

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 082	提案機関名 神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会
要望問題名 しらすの沖合い分布状況調査（漁場形成メカニズムの解明）について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会（しらす協議会）に所属する漁業者40軒（延べ120名）が生産する「湘南しらす製品」は、かながわブランドにも登録され、おかげさまで、神奈川県を代表する名産品として人気を博し、湘南地区の料理店では「湘南しらす」を使ったしらす丼が定番メニューとなっています。 しかし、近年、シラスの親であるカタクチイワシやマイワシ資源の減少や、海況の変化により、沿岸の漁場のシラス資源の減少が著しく、平成27年は近年稀にみる不漁でした。 一方、沖合漁場での操業は、沿岸漁場と比べて燃油も5倍近く消費します。沖合漁場での魚群分布状況の把握により、燃油コスト節減による生産性の向上が期待できます。そこで、既存の調査等で相模湾航行時に、シラスの魚探反応があれば、位置や水温情報等を提供して頂きたい。 更に、沿岸漁場にシラスが居ない際に沖合漁場の分布状況を調査し、どういう時に沿岸、どういう時に沖合で漁場形成されるか、海況等と照し合わせた漁場形成メカニズムを解明して頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（海洋資源担当）・相模湾試験場
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済（魚探調査） <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 本県沿岸域におけるイワシ類の資源研究		
対応の内容等	沿岸漁場でシラスの反応がない場合に、しらす漁船が積極的に沖合漁場に出向き探索を行うようになってきている現状を把握しており、沖合海域で漁獲されるシラスへの関心が以前と比べ高まってきていると当所としても認識しております。 従来からシラスの漁場形成要因について研究を行っているところですが、ご要望の沖合海域での漁場形成メカニズム解明につきましても、引き続きイワシ類の資源調査の中で調査・研究を進めます。 また、沖合漁場での魚群分布状況調査につきましては、相模湾試験場の調査船「ほうじょう」が相模湾を航行する際に魚探調査を実施して情報提供しており、今後も調査を実施して、情報提供して行こうと考えております。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			